

1950年代から近代化が進む

社会の条件が変わって行く中で、農業風景が変わったか。  
観光化した農業、工業化した農業

農村の風景

- 1 窓の中の風景
- 2 農場の風景
- 3 家、道、生活の風景

1980年代

家の裏に農作業のための裏口があった  
人の通るくぼんだ道が自然にできた くぼみをアスファルトで埋めた  
地元の人々の美意識から再び昔の道に戻した

村でも近代化した方が良い人もいた。彼女が反対を押し切り近代的な家をつくったが、次第にもの足りなさを感じた。何が原因かなど思ったが、やはり、昔のつくり方に戻すことになった。

近代化が本当に良いのか？見つめ直して村づくりを行った。

ランドスケープの体験方法として

絵、写真、スポーツ、馬、マウンテンバイクなど各々ある。

---

## ギリシアの民俗音楽の中の村とランドスケープ

ソティリス・フトリス（ギリシア）

島の唄

白い空、白い海                      非日常の世界  
白い花嫁は花で飾りうらやましい  
美化されている

花嫁は年をとる                      日常の世界

花嫁が風景を引き立てる。風景が花嫁を引き立てる。相互関係がある。

風景の背景にはキリストやマリヤ様が見える      宗教的なもの

ギリシアでは農地を売買しない                      神聖化している  
木なども神聖化することによって残して行く                      風景になる

ギリシア（キリスト教）とトルコ（イスラム教）は戦争をしていた  
同じ唄、メロディー、民俗でありながら宗教が違うために、描くイメージが異なった。